

# Todo

## – アプリ要求性能精査

- 現状でやっているものについては、そのまま
- **お願い： 京でのプロファイルをご提供ください。**
  - **出せる範囲で構いません。**
    - » その際の、メトリクス表の準備をします。
    - » 丸山さんから、どのアプリのプロファイルがほしいかを各取りまとめ役に連絡(ここまで、12月中)
  - 想定問題規模への外層の方法を教えてください。
- 締切： 1月15日

## – ミニアプリ化：このFSで行うもの。

- Modylas、Marble、CCS-QCD、FFVC、NGS Analyzer、ALPS/Looper、mVMC、FFB、CONQUEST、気象シミュレーションコード。

# 予定

- 来年3月10日
    - 合同最終報告会(SDHPC兼ねる)@東京
  - アプリFS最終会議＋打ち上げ
    - 2月中旬から3月上旬？
- == 以下は、実施主体としてのお願い
- 各アプリがどの評価軸を網羅するかを各分野で○×つけてもらう。
    - アプリFS事務局へ： 締切1月末？
    - メールベースで議論。
    - 2月、3月の全体会議でフィックス

# 来年度以降に向けて

- 本コミュニティの継続？
  - サイエンスロードマップの更新どう続けていくか？
    - 常にこういう議論、コミュニケーションはやっていくべきではないか？HPCIコンソのWGでは、今回より早く着手すべきとのこと
      - 計算科学の見通しは、HWを議論する前にやっておかねばならない(これは富田の意見)
    - 現在、お金のめどは……ある、ない？
      - なにかよい方法はないものか？コアメンバーすらボランティアベースになってしまうので、しっかり予算バックボーンはあった方がいい。(富田意見)
      - 母体としては、HPCIコンソーシアムなどが適當？
- 次のとりまとめ代表？
  - 富田がお願い打診するかもしれません。

# 来年度以降の動き

## 開発主体としての動き

- 来年度からフラグシップ開発の着手は認められた。
  - 課題選定は、別途、委員会が組織される模様
- ミニアプリをベンチマークセット化、続く。
  - CSTPの強い要請があり国際標準化のような動きが期待されている  
(ポスト京プロジェクトの中で行っていく予定)
- 来年6月ごろ、小柳WGで再度評価される。
- 来年秋ごろ、再度CSTPの評価を受けることになる。

## 第2階層の動き

- 第2階層(フラグシップで賄いきれないもの)は早々に議論される。小柳WGでも着手している。